

## ノーチラス D.I.Y.ヴァージョン

武田康雄/JA2TVO

よりハイファイな音、より自然な音を目指して製作した「ノーチラス D.I.Y.ヴァージョン」と名付けた写真のようなスピーカーシステムが完成しましたので紹介します。仕様は次の通りです。

ツイーター：T350 / EV

中音ホーン：2730A+2426 / JBL

ウーファー：Radian 2216

消音ダクト：ステンレス針金枠、硬質塩ビシート、  
塩ビパイプ等を FRP で強化。全長  
約三メートル。

クロスオーバー周波数：800Hz、6000 Hz

雑誌で知ったオリジナルノーチラス（以下ノーチラス）の機能と音に興味を持ち、構造を真似たスピーカーシステムを幾つか作ってきました。口径 38 センチのウーファーがもたらすであろう鮮明な低音の可能性を試したくなり、今回 FRP 製の先細り形状の消音ダクト（以下ダクト）をウーファーに取り付けました。

ダクトは手作り工作のため写真のような形になりました。ウーファー後面に取り付けてあります。中高域用のユニットはホーンスピーカーのためダクトは着いていません。各ユニットは手持ちのバスレフ型スピーカーシステムに収まっていたものを移植しました。緩い感じの低音が気に入らず、長い間眠ったままになっていました。

複雑なノーチラスのシステムとは比べものにならない簡素なシステムですが、ウーファー後面のダクトは疑似無限空間の役目を申し分なく発揮しています。シングルアンプ駆動ですので、中高域のアッテネーターで全域のレベルを調整しています。バスレフ型に劣らない十分な低音が出ています。

今回のシステムでは低音域に今まで無かった鮮明さが加わり全体の感じがすっかり変わりました。より自然な響きの音になりました。特定の音域を強調したり色付けしたりしない、ノーチラスの音の特徴を備えたハイファイ音だと自負しています。このシステムはクラシック音楽だけでなくジャズ演奏のライブ感の再現にも向いています。音楽鑑賞を楽しむ諸兄にとってノーチラスが目指した音（の幾らか？）が自作でも味わえることを示す一例として発表します。

参考：製作過程を私の[ホームページ](#)で紹介しています。

